

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 48)

<b>件名</b>	建屋換気設備における排風機の停止									
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 低レベル廃棄物処理建屋: 建屋排風機</p> <p>(2) 発生の状況 建屋排風機の運転中</p> <p>(3) 概要 運転中の排風機のベアリング磨耗による、建屋排風機の停止</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>									
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 2台ある建屋排風機のうち、待機中の建屋排風機が自動起動するため、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 当該建屋排風機が停止しても待機中の建屋排風機が自動的に起動するので、建屋内の負圧は確保され、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 建屋排風機の復旧作業は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画書に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 待機中の建屋排風機が自動起動し建屋内の負圧は維持されるので、他工程への影響は生じない。</p>									
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 起動した建屋排風機が正常に運転されていることを確認する。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従い、停止した建屋排風機を復旧する。</p> <p>(3) 復旧後、定められた操作手順に従い、切り替えを実施するか、待機状態にする。</p>									
<b>公表区分</b>	翌平日に公表 (ホームページへ掲載)									
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転系統を切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">3</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射性物質の外部防出</p> <p>工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等</p> <p>工場内への影響</p> <p>多重防護の劣化</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
0以下	1	2	3	4	5	6	7			

